



建設現場、直接拝見！

大学生が夕張ニューパロダムで

日本橋梁建設協会

【岩見沢】日本橋梁建設協会（川田忠樹会長）は3日、北海学園大工学部社会環境工学科の3年生80人を招き、夕張ニューパロダム、橋梁の建設工事を対象に、真剣に札幌開建の担当者の説明に聴き入る学生たち

現場見学会を開催した。

建設工事の現場を直接見ること、建設業の魅力を認識してもらおうと、札幌開建、石狩川開建の協力を得て実施。

夕張ニューパロダム堤体建設1期の次に訪れた、一般国道452号夕張市緑橋

上部の現場は、夕張ニューパロダムの建設による、国道の付け替え工事に伴う橋梁を施工中。緑橋は、橋長202.7mで2径間連続鋼床版変断面箱桁橋となる。

札幌開建の担当者の説明に対し、学生が「無塗装橋梁」に関して、鋼橋外観の「さび」についての質問を投げ掛けるなど、現場で積極的に学び取ろうとする姿勢が、うかがえた。